

人が生き生き！ マグマシティ



お住まいの地域で活躍する
市民の皆さんを紹介します



上地トシ子さん、篠原ヤス子さん、横山幸さん、川添マキさん、萩原教子さん

小池島廻り踊り保存会 (桜島小池町)

1600年代(島津家第19代藩主光久の時代)に、桜島の周囲を船で回る速さを競う「島廻り」が始まったとされ、周りの船に着飾った女性が乗り、三味線や太鼓、唄で花を添えたのが「小池島廻り踊り」の起源といわれている。大正噴火で大隅半島と陸続きとなってからは徐々に島廻りは廃れたが、踊りだけは残り、昭和60年に横山会長が保存会を立ち上げた。現会員は8人。

5分程度の唄に合わせて、踊り手は扇、こぎ手が櫓を持ち踊る。踊りは平成17年に市の無形民俗文化財(民俗芸能)に指定。

■保存会の立ち上げ当初は苦労の連続

小池に住む高齢者に、どのような唄・踊りなのか聞きまわることから始まりました。聞く人により踊り方が異なり、音程もさまざまで、形にするのに苦労しました。

■後継者不足の悩みと続けられる秘訣

横山会長(89歳)をはじめ、会員は主に70・80代。いつまでも踊りを残していきたいですが、後継者不足が悩みです。それでも和気あいあいと楽しく活動できているから、続けられています。

■久しぶりに披露できる舞台が

コロナ下でここ2年は披露する機会が限られましたが、桜島火の島祭り(10月1日)、市ふるさと芸能祭(10月22日)で披露予定です。面白い踊りだと知ってもらえたらうれしいです。



▲披露する舞台に合わせ、色鮮やかな衣装をまとい踊る



▲練習拠点の小池公民館で熱心に振りを確認



▲約40年使っている櫓や太鼓

かごしまフォロワー
かごフォロ

シンガー・ソングライター
麗奈(REINA)さん

【広報課 ☎216-1133 FAX216-1134】



本市出身で、登録者数670万人を超えるYouTubeチャンネル「THE FIRST TAKE」のオーディションで、約5000組の中から優勝。今年、メジャーデビューを果たした麗奈さんにお話を伺いました。

長渕剛さんのファンだった両親の影響で、9歳からギターを始め、中学生の頃から作詞作曲に挑戦。高校生になるとライブ出演も増え、シンガー・ソングライターとして表現していきたいという決意が固まってきました。オーディションに挑戦したのは、専門学校の卒業を控え将来を決めかねていたタイミング。自信はなかったものの、優勝するぞ！という気持ちで臨みました。

優勝してからは、楽曲配信やメジャーデビューも決まり、今は音楽一色の生活です。楽曲制作に当たり、人前での感情表現は苦手ですが、素直な気持ちを歌に乗せるようにしています。



鹿児島で大好きな場所といえば、慈眼寺公園。専門学生の頃、遊歩道を歩きながら作曲していたことを思い出します。県外の仕事も増えてきましたが、今も鹿児島市を拠点に活動しています。目標は大きな会場でのライブですが、まずは地元でできることから挑戦していきたいです。

私自身も、時には立ち止まったりすることもあると思いますが、皆さんの心に寄り添える存在になれるよう頑張ります。ぜひ、たくさんの方に歌を聴いていただけたらうれしいです。

(インタビューの詳細はインスタグラム「カゴシマファン」などでチェックを)



ひろばサポーターがゆく 特定健診・がん検診

【特定健診…サンサンコールかごしま ☎808-3333 FAX216-1200(国民健康保険課)、
がん検診…がん検診専用ダイヤル ☎214-5489 FAX803-7026(保健予防課)】

大切な人のためにも定期的に健(検)診を

10月はピンクリボン月間です。世界規模で、乳がん検診の早期受診が呼びかけられています。乳がん征圧への願いを込めて、市役所東別館1階にはピンクリボンツリーが設置されるそうです。



ひろばサポーター
荒川

乳がんに限らず、病気の早期発見・早期治療や生活習慣病の予防には、まずは健(検)診が重要な一歩となります。今回は、市役所の国民健康保険課と保健予防課の職員の皆さんに、特定健診とがん検診のお話を伺いました。



特定健診は、40～74歳の市の国保加入者が受診できるメタボリックシンドロームに着目した健診で、無料で受診でき、受診するとさまざまな特典が受けられるクーポンなどをもらえるそうです。

がん検診は、検診の種類と対象者に応じて市の補助が受けられ、少額の自己負担で受診できます。生活習慣病の1つでもあるがんは、生涯で2人に1人がかかるといわれ、中でも女性がん(乳がん・子宮頸がん)は30代から死亡率が上がるので、若いうちからの定期的な検診が大切とのこと。また、早期発見できれば適切な治療を受けられ、9割以上の完治が見込めるそうです。

受診率が伸び悩んでいるそうで、自分自身のことだけでなく、大切な人のためにも定期的に健(検)診を受診することが大切だと改めて感じました。

多くの方が受診しやすいよう、土日や夕方の健(検)診、託児のできる日もあるそう。皆さんも受診してみませんか？



特定健診



がん検診